

NTJU News

発行所: ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住 所: 京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人: 山本 明広 編集人: 小田 一義

2024-No.9
2025年 3月 10日

2025年総合労働条件改善闘争

速報②

CONTENTS

- ・NTJU-NTCJ No.1縮小交渉
- ・スト権委譲投票結果 他

組合 積極的な「人への投資」により、事業成長につながる
挑戦意欲の喚起と職場環境の構築を

会社 「人への投資」の重要性は共通認識も
経営状況を踏まえた判断が必要

1 NTJU - NTCJ No.1縮小交渉 3月5日(水) 10時～

組合 一昨年、昨年と2年連続で大幅な賃金水準の改善を実現し、長く続いた賃金も物価も上がらないという慢性デフレのサイクルからのステージ転換は達成できた。本年はさらに賃金も物価も経済も安定的に上昇する経済社会の定着をはかる重要な年であると認識している。継続した賃上げにより、成長と分配の好循環を回していくことが大切である。

昨年度から継続して消費者物価指数は上昇しており、我々の生活を圧迫している。昨年の大幅な賃上げにもかかわらず実質賃金はマイナスで推移しており、OECD35カ国中25位と低位である。また、半導体業界の状況は、AI関連以外の多くの製品でマイナス成長の見込みという厳しい状況と認識している。

そのような中でも、事業成長していくためには、環境変化に対する挑戦意欲の喚起と、多様な人材が安心して働ける職場環境の構築が必要と考える。NTJ労組でも賃金実態調査で、賃上げにより全世代の賃金が上昇し、モチベーションの向上にもつながっていることを確認している。

NTJ労組としては、上部団体の方針を踏まえつつ、積極的な『人への投資』により事業成長の実現と、継続的に実質賃金を向上させ経済の好循環を確かなものとするという今次闘争で果たすべき社会的役割など、総合的な判断のもと要求している。



会社 組合が主張している経済社会の情勢や外部環境の変化、特に物価高騰による生活費の上昇が組合員の生活不安に影響していることは、会社も認識している。

また、経済の好循環を目指す経団連の方針や、適正な価格転嫁を含めた産業界全体の取り組みの重要性や、継続した賃金の引き上げの必要性も認識している。

半導体業界は活況と言われているが、それはAIやメモリなど特定分野であり、その他ほとんどの分野は前年割れ、特に車載分野の落ち込みは顕著である。当社においては、特に自動車市況の低迷により大幅な販売額減少、および生産減による稼働ロス、在庫増により、2024年度の経営状況は非常に厳しいと言わざるを得ない。

一昨年、昨年と2年連続で大幅な賃金引き上げを決断した。会社は、NTCJ発足以来、継続的に「人への投資」に積極的に取り組んでいる。「人への投資」を継続的に実現するためには生産性向上を伴い個人と会社が共に成長することが大前提である。賃金以外にも教育投資、デジタル投資など、総合的な投資が必要であり、25年度以降も積極的に推進していく。

企業として果たすべき社会的責任の重要性については会社としても認識している。現在労対委員会で「60歳以降の賃金水準改善」も検討している中で、総額人件費増につながる施策については、組合要求項目ごとに内容を精査し、組合員のモチベーション向上や当社の中長期的な将来への成長性と現状の経営状況を踏まえ、従業員と会社がともに成長するためのベストの選択をしていきたい。

限られた時間ではあるが、引き続き論議していきたい。



2 スト権委譲投票結果報告

3月5日(水)18時より、選挙管理委員会を開催し、2025年総合労働条件改善闘争の「スト権委譲投票」の開票結果の確認を行いました。開票の結果、スト権は以下の通りとなり、確立されましたのでご報告します。

※投票率：89.1%（投票数／投票可能組合員数）

【スト権確立】 98.6%（賛成票数／投票総数）

3 社員就業規則の改定について

交渉の中で会社より社員就業規則の改定についての申し入れがありましたので報告します。

■会社申し入れ内容

今日的な観点で休暇を受ける時期および期間を見直し、以下内容で改定を行う。

1. 慶弔休暇（本人結婚）改定内容

改定前			改定後		
社員就業規則 慶弔休暇 第36条 社員が次の各号の一に該当する場合は、それぞれ次の範囲内で慶弔休暇を受けることができる。			社員就業規則 慶弔休暇 第36条 社員が次の各号の一に該当する場合は、それぞれ次の範囲内で慶弔休暇を受けることができる。		
区分	休暇を受ける場合	休暇を受ける時期 および期間	区分	休暇を受ける場合	休暇を受ける時期 および期間
結婚	本人が結婚するとき	結婚式または入籍日の当日前後もしくは会社への結婚の届け出日後通算7勤務日（出勤扱い）	結婚	本人が結婚するとき	会社への結婚の届け出日後、1年以内に通算7勤務日（出勤扱い） 3回まで分割での取得を可とする

2. 実施日 2025年4月1日

4 2025春季生活闘争・第27回参議院議員選挙勝利総決起集会



連合京都では2月28日（金）に円山野外音楽堂で「2025春季生活闘争・第27回参議院議員選挙勝利総決起集会」を開催しました。

集会では「みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会」をスローガンに、春闘を通じてみんなの生活向上を実現し、経済の好循環を実現することと、次の第27回参議院議員選挙で、働く仲間を代表する各産別の推薦候補者全員を国会に送り出し、組合員の声を政治に届けることを誓い合いました。集会後は京都市内を行進し街頭の市民にアピールしました。

今年、電機連合はデモ隊を先導し、NTJUから執行部2名が街宣車でのアナウンスを担当しました。



集会はこちらでご覧になれます。26分30秒から約1分半「電機連合推薦候補者紹介」、38分00秒以降～ラストまでの約5分間、「団結ガンパロー/街宣行動」の映像が流れます。
（*勤務時間外に個人端末からご覧ください）

電機連合は、平戸 航太（ひらど こうた）さんを、来たる第27回参議院議員選挙の組織内公認候補として推薦し、組織を挙げて支援します。

NTJUとしても、7月に予定されている選挙まで、組合員の皆さんに「平戸航太」さんを知ってもらい、支援の輪を広げる活動を進めていきます。皆さん一人ひとりのご協力をよろしくお願いします。

